

おかやました ぶん かきょうせいしゃかいすいしん ぷらん ねん がつ
岡山市多文化共生社会推進プラン (2019年4月)

～ みんなが^{ちが}違いを^{みと}認めて ^{ささ}支えあって

^{がいこくじん} 外国人も ^{にほんじん} 日本人も なかよく ^く暮らせる まちを ^{めざ}して ～

1 計画の変更

岡山市は、2008年9月に、外国人も日本人も一緒になかよく暮らせる社会をつくるために、この計画を作りました。2014年4月、2019年4月にこの計画を変えました。

岡山市では外国人が増えています。2019年4月に法律が変わったので日本で暮らす外国人はさらに増えるでしょう。

外国から岡山市に旅行で来る人も増えています。外国人にわかりやすい情報を伝えることが必要です。

岡山市はSDGs（世界をより良くする共通の目標）未来都市に選ばれました。一人も取り残さない社会をつくっていきます。

2018年7月にはたくさんの雨が降り、大きな被害を受けました。このときにおかった問題を解決していくことが必要です。

国籍や民族の違う人が認め合って一緒になかよく暮らせる社会をめざしています。

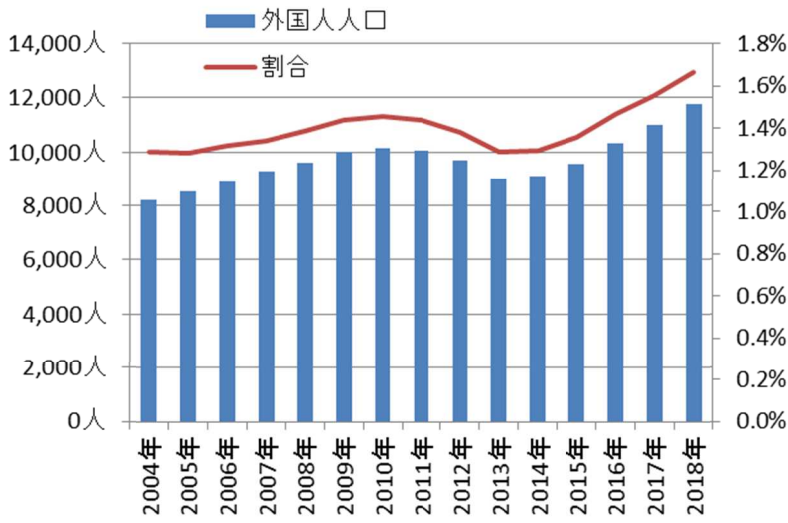
2 計画の考え方

外国人も日本人も一緒になかよく暮らせる社会をつくるためには、お互いの違いを認めることが必要です。外国人も日本人もまちづくりに参加して、みんなが支え合って暮らせる社会をつくりまします。

3 計画の進め方

岡山市役所と市民、民間団体、学校と協力して、計画を進めていきます。

4 岡山市に住んでいる外国人の数



(2018年12月に住んでいる人の数)

岡山市に住んでいる人の数

709,241人

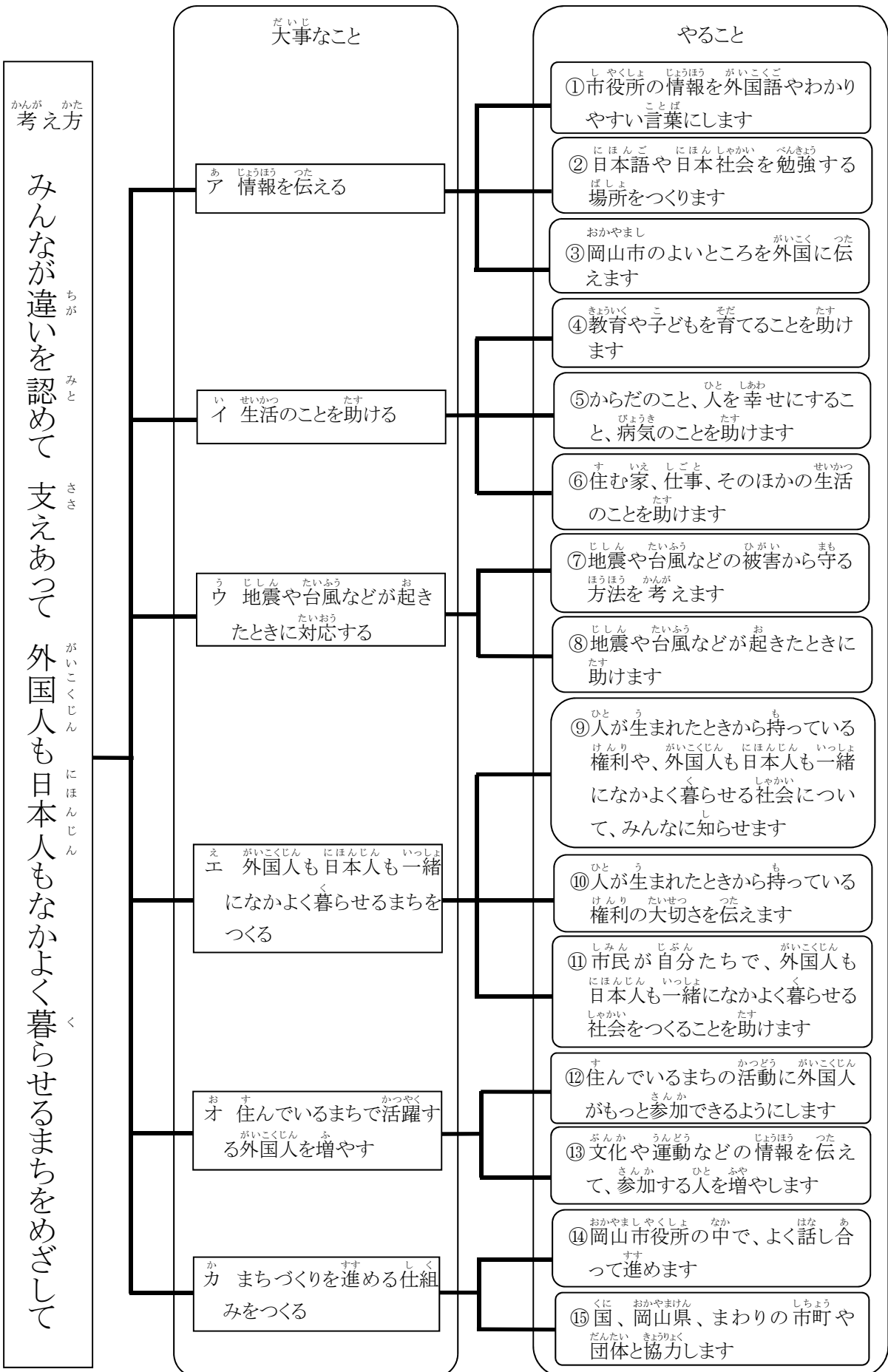
岡山市に住んでいる外国人の数

13,026人

岡山市に住んでいる外国人の割合

1.8%

5 計画の図



6 計画の内容

ア 情報を伝える

日本語がわからないことで、外国人と日本人との間で情報が伝わらないことがあります。生活に必要な情報を外国語ややさしい日本語で伝えます。日本語を勉強する場所をつくります。

- ① 市役所の情報を外国語やわかりやすい言葉にします。
- ② 日本語や日本社会を勉強する場所をつくります。
- ③ 岡山市のよいところを外国に伝えます。

イ 生活のことを助ける

住んでいるまちで、安心して生活できるようにします。

- ④ 教育や子どもを育てることを助けます。
- ⑤ からだのこと、人を幸せにすること、病気のことを助けます。
- ⑥ 住む家、仕事、そのほかの生活のことを助けます。

ウ 地震や台風などが起きたときに対応する

外国人に地震や台風などのことを教えます。地震や台風などが起きたときに、外国人に情報を知らせる方法を見直します。外国人にとって必要な情報を集めて、助けます。

- ⑦ 地震や台風などの被害から守る方法を考えます。
- ⑧ 地震や台風が起きたときに助けます。

エ 外国人も日本人も一緒になかよく暮らせるまちをつくる

住んでいるまちや会社や学校などのいろいろな場所で、人が生まれたときから持っている権利や、外国人も日本人も一緒になかよく暮らせる社会について知らせます。

- ⑨ 人が生まれたときから持っている権利や、外国人も日本人も一緒になかよく暮らせる社会について、みんなに知らせます。
- ⑩ 人が生まれたときから持っている権利の大切さを伝えます。
- ⑪ 市民が自分たちで、外国人も日本人も一緒になかよく暮らせる社会をつくることを助けます。

オ 住んでいるまちで活躍する外国人を増やす

外国人が活躍できるようにします。住んでいるすべての人が一緒に考えて、意見を言うことができるまちをつくります。

- ⑫ 住んでいるまちの活動に外国人がもっと参加できるようにします。
- ⑬ 文化や運動などの情報を伝えて、参加する外国人を増やします。

カ まちづくりを進める仕組みをつくる

外国人も日本人も一緒になかよく暮らせる社会をつくることは岡山市役所だけではできません。市民や外国人の団体、市民の団体、会社、国、岡山県、まわりの市町と協力して進めます。

- ⑭ 岡山市役所の中で、よく話し合っ進めます。
- ⑮ 国、岡山県、まわりの市町や団体と協力します。